

前回、「カリフォルニア州で最大」と書かれていたダム撤去についての報道を紹介しましたが、また、カリフォルニア州とオレゴン州にまたがる **Klamath** 川での 4 つのダムの撤去(米国で最大と書かれています)の合意が纏まったとの報道を見つけたので、紹介します。

サケの遡上等の環境を重視した上での対応で、費用は、電力料金への上乗せと、州の資金によるとのこと。

[Engineering News-Record](#)

Multiparty Pacts in Northwest Set the Stage For Largest Dam Removal in U.S. History

北西部における複数の団体の協定は、米国の歴史上において最も大きなダムの除去をお膳立てした。

02/24/2010

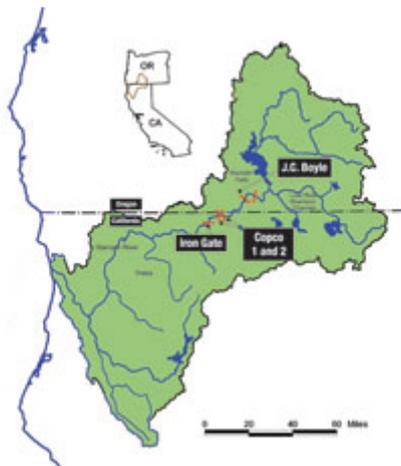
By [Pam Radtke Russell](#)

米国の歴史上で最も大きなダムの撤去と河川復元は、米国内務省、オレゴン州、カリフォルニア州、PacifiCorp、およびその他の約 40 のグループが、**Klamath** 川の 4 つのダムの 2 億ドルの撤去と **Klamath** 流域の 10 億ドルの復元を動かすであろう協定にサインした時に、先月現実に近くなる第 1 歩を始動した。



Photo: Pacificorp

20 メガワットのコンクリートダムの Copco1 は、それが 1918 年に権限を委託されたので、その効率性を失っていた。



PacifiCorp(Warren Buffet の Mid-American Energy Holdings Inc(アイオワ州 Moines)の子会社)によって所有されているダムは、撤去が始まるまで、電力を引き起こし続けるであろう。Federal Energy Regulatory Commission (連邦エネルギー規制委員会)はそれらの実際の能力を 43 メガワットと見積っている。

時間の経過に伴った堆砂は、コンクリートと土の構造物の効率を減少させた。1918 年と 1962 年の間に築かれて、それらはそれらの設計された定格能力(J.C. Boyle (90 MW)、Copco 1(20 MW)、Copco 2(27 MW)、および Iron Gate (18 MW))の 3 分の 1 以下で稼働している。

Dept. of the Interior(内務省)は、ダムの除去が公共の利益の中に合うかどうか、そしてプロセスが Klamath 流域でサケを回復させることに役立つかどうかを、2012 年 3 月 31 日までに決定しなければならない。撤去の準備作業がより早く始まり得るが、仕事は 2020 年より早くには起こり得ないであろう。

Klamath Basin Restoration Agreement(Klamath 流域復元協定)と Klamath Hydroelectric Settlement Agreement(Klamath 水力発電和解協定)は、ダムの背後の堆砂、撤去の経済的影響、および full National Environmental Policy Act (完全な国家環境政策法)の分析についてのさらなる調査を含めて、最終期限の前に、行わなければならないいくつかのステップを明確にする。

2012 年までに、Dept. of the Interior(内務省)はまた、連邦機関または民間の請負者が撤去を監督するであろうかどうかを決定するであろう。ちょうど今、Bureau of Reclamation(開拓局)は、局のスポークスマン Kip White によると、指定された「dam-removal entity(ダム除去主体)」になる可能性がある。「目標は当初は、非連邦のダム主体を持つことであった」と彼は言う。「しかし、責任と潜在的なリスクを引き受ける意思がある可能性があるものは世の中に誰もいないかもしれない」。

工学コンサルタントの Camp, Dresser & McKee Inc.(マサチューセッツ州 Cambridge)による 2009 年のレポートは、より悪いケースシナリオとして、事業費を 6 億 7500 万ドルまでに押し上げ得る、閉鎖と関連した 130 の潜在的な物理的、生物的、および社会経済的な責務を識別した。

協定によると、撤去のコストは4億5000万ドルで上限を決められ、PacifiCorpの料金支払者とカリフォルニア州によって支払われるであろう。Klamath流域の復元は、10億ドルかかると予想されていて、プログラムは、議会の割り当て（appropriation）が必要であろう連邦のファンドによって払われるであろう。

2012年のレポートはまた、ダム撤去のための方法と、ダムの背後の堆砂物のいくらかがダムが撤去される前に取り除かれるべきであるかどうかを決定するであろう。2006年のレポートの中で、Gathard Engineering Consulting(ワシントン州 Seattle)は、最下流のIron Gate ダムの背後に880万立方ヤードの堆砂物があることを見積もっている；これの、少なくとも80%はシルトと粘土である。CDMのレポートは、すべての4つのダムの背後の堆砂物について、汚染物質を特徴付けるためのさらなる研究を勧告した。

http://enr.ecnext.com/coms2/article_inwd100224KlamathDamRe